



事例紹介

ブラザー工業株式会社

brother
at your side



愛知県名古屋市のブラザー工業(株)は地球環境にも“*At your side.*”で取り組む。

事業領域での環境負荷低減を目指し水素利活用を推進します

CN取組の内容

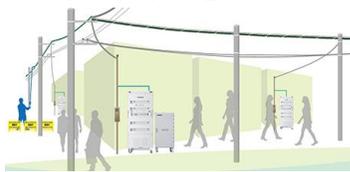
● 水素吸蔵合金グリーン水素充填・配送PJ

瑞穂工場で製造したグリーン水素を活用し、自社展示館「ブラザーミュージアム」で使用する電力の一部に利用。水素配送時には水素吸蔵合金を利用した自社製の燃料ケースを用いることで、誰でも安全な運搬、交換が可能です。この取り組みは、中部圏低炭素水素認証制度に認定されています。



● 水素柱上パイプラインの実証

水素利活用の課題の一つである水素の運搬を、安全で低コストに解決する「水素柱上パイプライン」の実証実験を福島県浪江町で行いました。水素柱上パイプラインは電柱等にパイプラインを吊って水素を運ぶしくみで、水素ステーションなど供給源からのラストワンマイルの輸送課題の解決に貢献します。



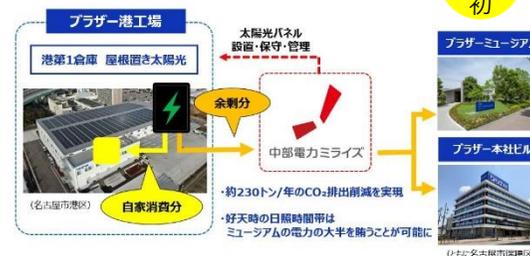
ここがポイント

燃料電池の遠隔管理

燃料電池の発電状況や燃料の残量等は遠隔でのモニタリングが可能です。保安規制がなく、劣化することがない水素吸蔵合金の燃料と合わせて用いれば、実地監視頻度を限りなく少なくでき、省人化にも寄与します。

オンサイトPPA^{※1}とオフサイトPPAを一体化した取り組み

自社倉庫屋根に設置した太陽光パネルで発電した電力を自家消費するとともに、その余剰電力を当社本社地区でオフサイト利用しています。この取り組みにより、再生可能エネルギーを最大限活用できています。



Green × Digitalコンソーシアムへの参画

サプライヤー企業におけるScope3カテゴリ1^{※2}の算定時に、省エネ活動や再エネ導入等、企業の排出量削減努力が反映出来るようなくみづくりにおいて参画しています。当社が蓄積してきたLCAの知見を生かし、企業のCO₂排出量の削減努力も見える化できるデータ連携を目指しています。

※1) PPA・・・Power Purchase Agreement(電力販売契約)の略。

※2) Scope3カテゴリ1・・・GHG排出量(温室効果ガス)算定に利用する類型の一つ。購入した製品、サービス由来の排出量を指す。例：サプライヤーからの原材料由来の排出量。